

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	創成科学科目群		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	地域科学科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 徳島で暮らす・徳島で働くを考える				
	(英文名) Challenge of "life in Tokushima, work in Tokushima"				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 金西計英				
	(ローマ字) Kanenishi, Kazuhide				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区分		
14. 対象学生	全学部全学科		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	1～3年生	
16. 曜日・時限			17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け		19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け			連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	徳島県 将来ビジョン やりがい 暮らし Tokushima / Vision for the future / Work and life				
21. 授業概要	徳島県内の第一線で活躍するリーダーや県内高等教育機関のOB・OGを講師に迎えて、経験の中から生まれた確信や考え方を語ってもらい、みなさんに自らのキャリア形成や地域社会との共生について、これからの持続可能世界を生きる意味について主体的に考えてもらう。				☒
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	徳島県の産業面から見た将来ビジョンと地元で働くやりがいや暮らしの楽しさ、メリットなどについて、地域の識者から学び、考えることで、将来の就職先としての徳島県の魅力について理解を深める。				☒
23. 授業の到達目標／学修課題	①徳島の地域文化を理解し、徳島における暮らしの魅力を説明することができる ②徳島の成長力がある産業を理解し、大学での自分の学びとつなげて考えることができる				☒
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																																							
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回: 徳島県の将来ビジョン(徳島県知事) 第2回: 徳島の地域づくりと観光産業 第3回: 徳島の地域医療と福祉の仕事 第4回: 徳島の次世代技術関連産業の展望 第5回: 徳島の6次産業化の取り組みと農林水産業の展望 第6回: 徳島のICTと地域産業 第7回: 徳島県の山海エリアで働く(パネルディスカッション) 第8回: 徳島県の強みと成長産業+総括				☒																																		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	参考図書として「徳島を好きになる本-文化と経済でみる「徳島」」(徳島経済研究所)を推薦します。市販品ではありませんが、大学図書館などで参照できます。				☒																																		
28. 成績評価の方法と基準	各回講義の終わりに作成する小レポート(10点×7回)と最終レポート(30点)				☒																																		
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし			☒																																		
	連携大学学生向け	なし																																					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: あり 香川大学40名・徳島大学0名・鳴門教育大学40名・高知大学40名・愛媛大学40名				☒																																		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	各ビデオ講義を視聴し徳島県の魅力について理解を深めた上で、徳島県の魅力について友達や知人等と話し合ってみて下さい。				☒																																		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																	
教科書1	書名																																						
	ISBN		著者名																																				
	出版社		出版年																																				
	金額		備考																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																						
	ISBN		著者名																																				
	出版社		出版年																																				
	金額		備考																																				
参考書2	書名																																						
	ISBN		著者名																																				
	出版社		出版年																																				
	金額		備考																																				

	参考書3	書名				
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Web テキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/					☐
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目				☐
37. 教員相互参観授業公開日程						☐
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	問い合わせは下記の電子メールにてお願いします。				☐
	連携大学 学生向け					☐
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	徳島大学人と地域共創センター 3階 金西研究室 e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp ※(a)→@				☒
	連携大学 学生向け	徳島大学人と地域共創センター 3階 金西研究室 e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp ※(a)→@				☒
40. 教員の実務経験						☐
41. バリアフリー対応	日本語字幕付き					☐
42. その他／備考						☐

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の緑色部分をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず、無しと記入してください)
2. グレー部分は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. 白色部分は想定内容をあらかじめ記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えて欲しい内容にはチェックボックスへチェック☑を入れてください。(各大学のシラバスに必ず記載されます)

1. 開講年度	2025		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教養科目群		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	自然と技術		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	MATH1321JLAS	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 数理科学の世界 (英文名) Invitation to Mathematics				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 金西 計英 (ローマ字) Kanenishi, Kazuhide				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区分	なし	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等／標準履修年次	全年次／全学部	
16. 曜日・時限	なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	特になし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	特になし
20. 授業のキーワード／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	正多面体, 対称性, 小説, 美術, 歴史, パズル, 初等数学 regular polyhedron, symmetry, fiction, fine arts, history, puzzle, elementary mathematics				
21. 授業概要	講義は一回ごとにテーマを決めて、原則一回完結になります。内容としては、数学の歴史、古代から近代文明に見ることの出来る数学の様相(西洋だけでなく江戸時代や中国の数学を含む)、美術で使われる数学理論、数学を取り扱った文学、音楽理論に現れる数学の理論、数学者の人間像(古代から現代まで)、占星術で使われる数学などで、レベル的には高校数学の内容で充分理解できるものです。				☑
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	高校までの数学では、「与えられた問題に公式を当てはめて答えを出す」ことの繰り返しだったかも知れませんが、「数学する」ことの本質は、そんな限定的な物ではなくて、世の中の色々な場所に見ることができます。この講義では、様々な場面に於いて数学が現れてくる瞬間を観察する事で、受講者の数学に対するイメージをもっと広い物にしてもらうことを目的とします。こう言った広い意味での「数学する」ことの本質を知ることは人間社会の文化、科学、技術を支える人間の知的活動を体感することにもつながるものと考えます。				☑
23. 授業の到達目標／学修課題	・数学的概念や「数学する」ことを実感する。 ・数学が嫌いでなくなる。				☑

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	1. 古代バビロニアの数学と古代エジプトの数学 2. 最初の女性数学者とアラビアの数学 3. 音楽と数学 4. 絵画の中の数学 5. ケプラーの宇宙観 6. ルイス・キャロル 7. ピュタゴラス 8. 悪魔とサイモン・フラッグ 9. 墨攻 10. 和算と算額 11. 数学史のなかの女性 12. 対数の発見と計算の道具 13. ゲームの数学 14. スナーク狩り 15. イミテーションゲーム 16. 期末試験 教科書は使いません。毎回資料を提示します。講義は原則一回完結を目指しています。 毎回の授業では、ビデオや資料の視聴と小テスト(30問程度の問題群から10問程度をランダムに出題)があります。	☒
27. 授業時間外学習にかかわる情報	適宜、参考資料を提示します。	☐
28. 成績評価の方法と基準	本科目に関しまして以下の基準で評価をさせていただきます。 1:毎回の資料及び動画は必ずMoodleにアクセスの上ご確認ください。全資料を確認して、「感想」を記入頂けますと一回の出席になります。一回の出席は1点に評価します。なお、「感想」の提出回数が10回未満の場合は、著しい減点を加えることがあります。 2:毎回30問の○×で答える小問が用意されています。15回の講義ですので合計で450題になります。期末試験にて各受講者へ、その450題の中から各回の問題よりランダムに6題選択され合計90題をweb上で出題しますのでweb上で解答してもらいます。 3:講義16回目が期末試験になります。通常の講義の時間に解答してもらいますので解答時間は90分になります。尚ランダムに問題を選択しますので、期末試験で選択される問題は受講者ごとに異なります。	☒

	正解の場合は1問1.5点で評価させていただきます(不正解は0点) 4:上記1:と3:の合計点を100点換算した得点(但し小数点以下は四捨五入)が最終得点になります。つまり $((\text{出席の点数} + \text{期末試験の点数}) / 150) \times 100$の小数点以下四捨五入が最終得点です。この得点で評価します。 5:毎回用意される30題は自主学習として講義終了後に何回も解答が可能です。ただし、この自主学習の解答結果は評価には加えません。授業計画は修正になることがあります。詳細は授業支援システム(Moodle)にあげます。																																																							
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし			☐																																																			
	連携大学学生向け	なし																																																						
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし 香川大学__名・徳島大学__名・鳴門教育大学__名・高知大学__名・愛媛大学__名				☒																																																			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目から第15回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となります。受講方法の詳細については、LMS内のガイダンスを参照してください。				☒																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐																																		
教科書1	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I S B N</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		☐
参考書1	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書2	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書3	書名																																																							
	I S B N		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知ブラ)ウェブサイト https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/				☐																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		☐																																																			

37. 教員相互参観授業公開日程			☐
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メールを利用してください。	☐
	連携大学 学生向け	電子メールを利用してください。	☐
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	徳島大学人と地域共創センター 3階 金西研究室 e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp ※(a)→@	☐
	連携大学 学生向け	徳島大学人と地域共創センター 3階 金西研究室 e-mail: marukin(a)cue.tokushima-u.ac.jp ※(a)→@	☒
40. 教員の実務経験			☐
41. バリアフリー対応	日本語字幕付き		☐
42. その他／備考			☐

2023年2月改訂